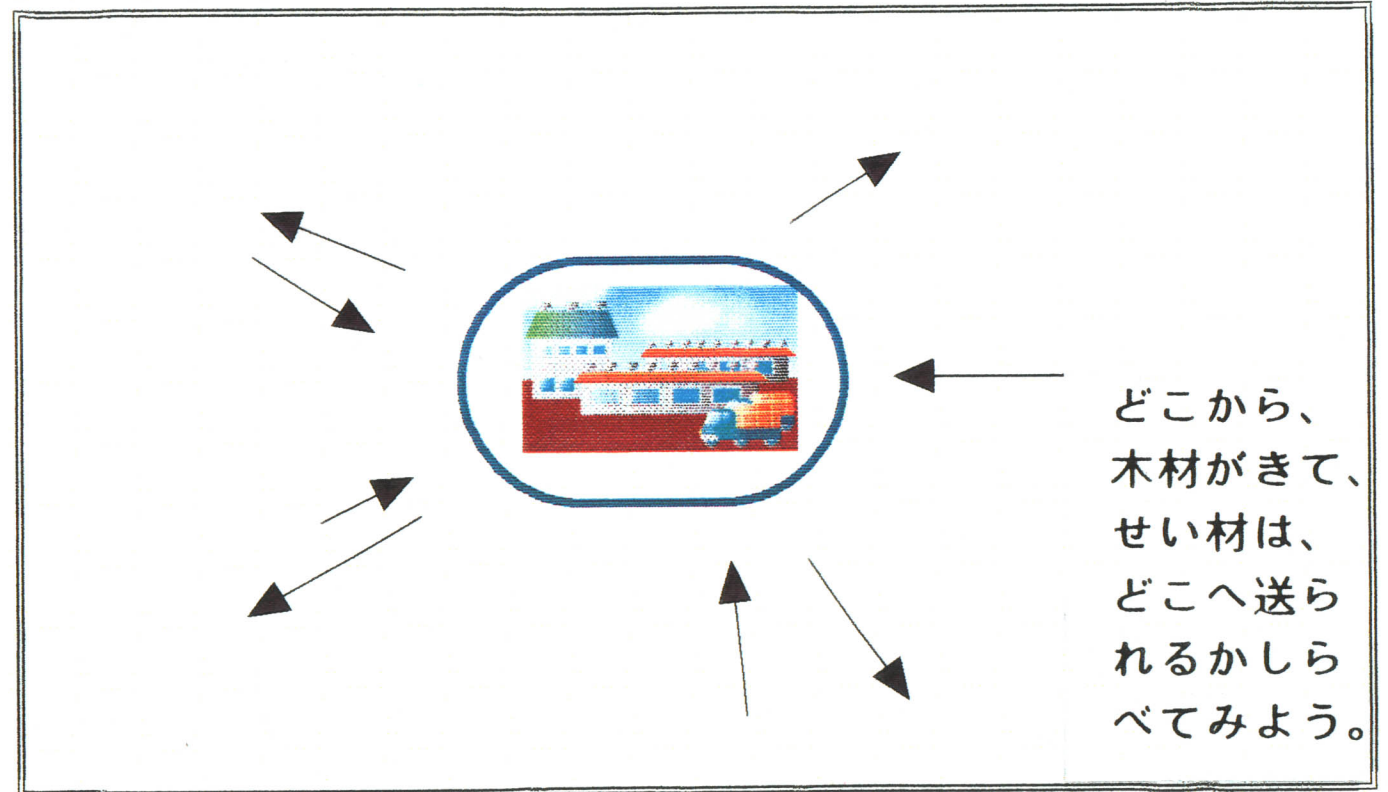
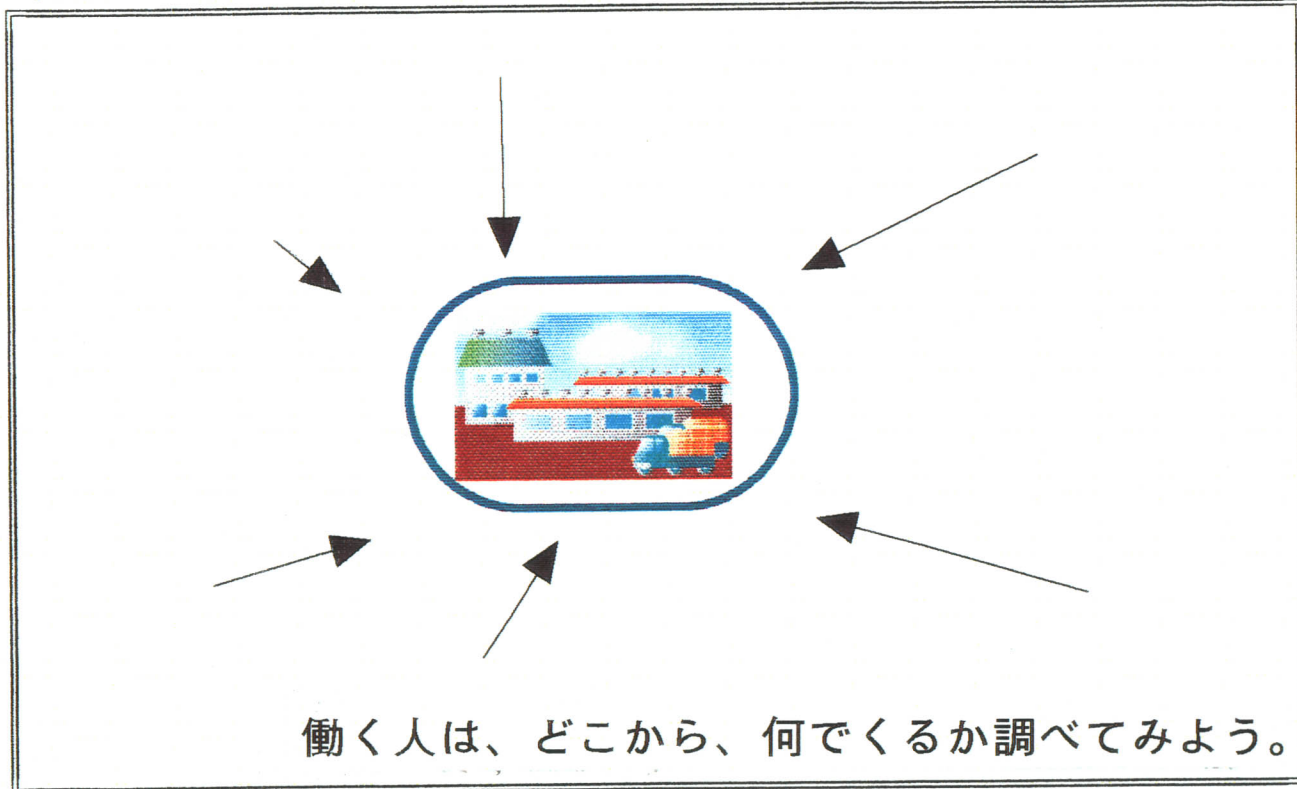
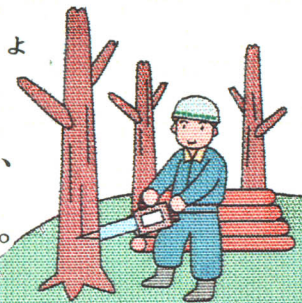

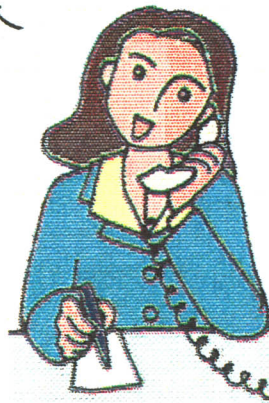


はたらく人たちの住んでいるところ



はたらく人の話

<p>木をきる人</p> <p>木を切りたおすとき、とてもきんちょうします。二人いじょうの組で、しごとをするときは、おたがいにれんらくをとりあいます。</p> 	<p>工場内で働く人</p> <p>きかいを使つての仕ごとが中心です。しあがりを考えながら、ざいりょうのしつにあったせいひんを作るように心がけています。よりよいせいひんが、こうりつよくできるように、ときどき、みんなで話し合ひをしています。</p>
<p>運ぶ人</p> <p>山道は、ほそうされてなく、せまく、とても道がわるいです。こうつう安全に一ばん、気をつけています。</p> 	<p>事務をする人</p> <p>ざいりょうやせい品のりょう、だい金などについて、毎日、記ろくやせい理をしています。計算をすることも多く、でまちがえないように気をつけています。</p> 

材木の利用



「木のまちはなわ」と言われるぐらい、埴町は、木材かこう業がさかんな町です。町には、せいざい所が多くあり、山のようにつまれた木材がみられます。木材かこうぎょうや林ぎょうで働く人がとてもたくさんいます。埴町図書かん、駅前の商店がい、学校のゆか材など、埴の木材を利用して作られたものが多くみられます。木材は、埴町をはじめ近くのたなぐら町、やまつり町、さめがわ村などの山から切り出されたものがほとんどです。

